

お金に関する調査レポート



実施方法	調査員による聞き取り調査
実施日	平成 22 年 6 月 24 日 (木)
調査場所	福岡市中央区天神 警固公園
対象者	10 代 (小・中学生除く) ~50 代の男女
回収サンプル数	200 サンプル
調査機関	(株)西日本リサーチ・センター

◆今回の調査のまとめ◆

近年、マスコミなどでは若年層のお金の使い方の変化が取り上げられ、また電子マネーをはじめとする新しい決済方法が普及してきています。人々のお金に関する環境や使い道、考えが変化してきているなかで、福岡の実状を調査しました。

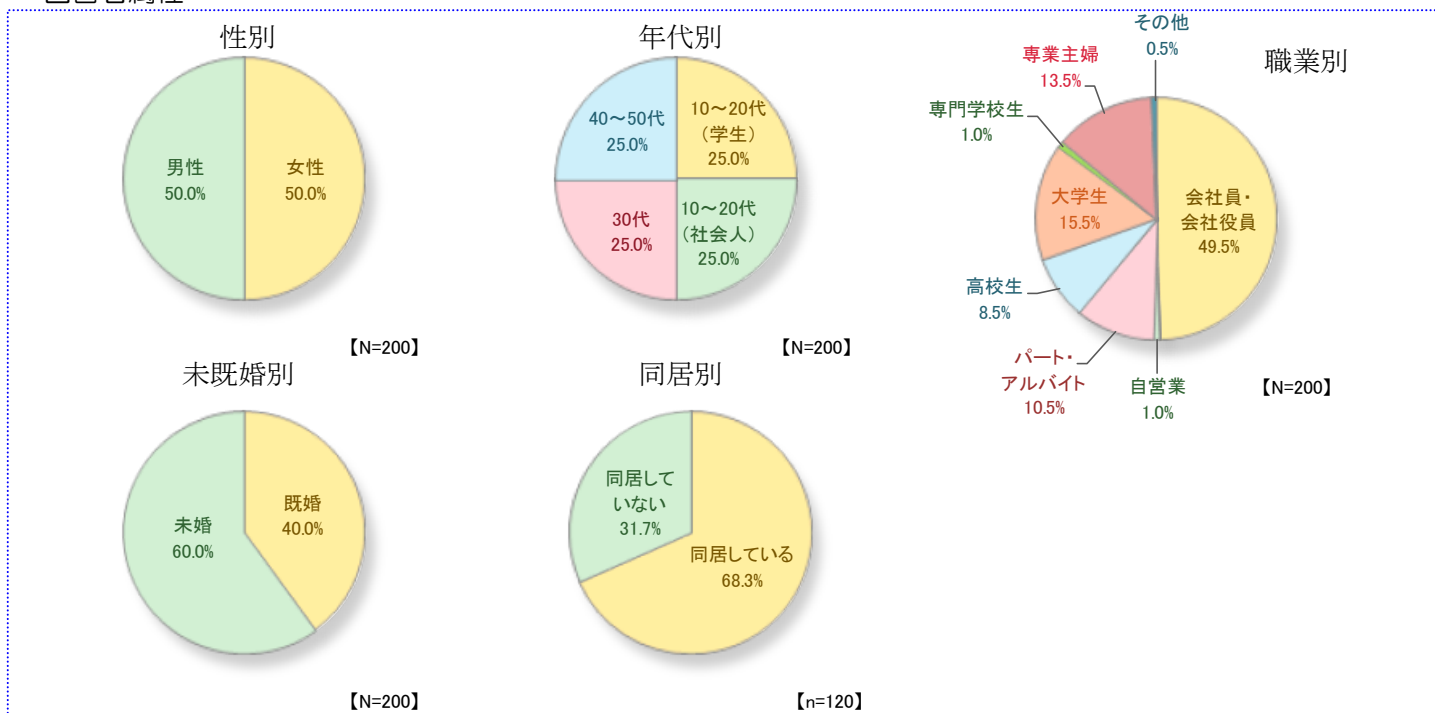
調査の結果、「普段何に最もお金を使っているか」については「食費」(48.5%)が最も多く、次いで、「衣服」(25.0%)、「交際費」(11.5%)の順となっています。性別によって違いがみられ、女性は「衣服」、男性は「交際費」にお金を使う傾向にあります。携帯電話の使用料金は10代~20代(社会人)が最も高く、若い年代の方が高くなっています。

今年3月から相互利用が始まったIC乗車券については6割程度の人所有しており、普及は進んでいるようです。調査場所の影響も考えられますが、西鉄のnimocaが48.5%と突出して多くなっています。nimocaは今年5月の時点で発行枚数100万枚を超えており、普及率の高さがうかがえます。また、電子マネーについても2人に1人はいずれかの電子マネーを使用しています。IC乗車券と同じく、電子マネーも生活に浸透してきているようです。



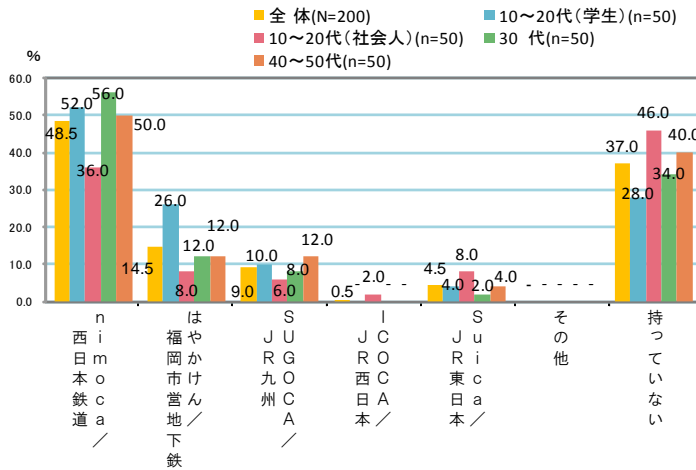
※この概要版において、グラフ上にデータがないケースでもコメントを入れています。詳細版の調査レポートを参照しています。

回答者属性



TOPIC 1

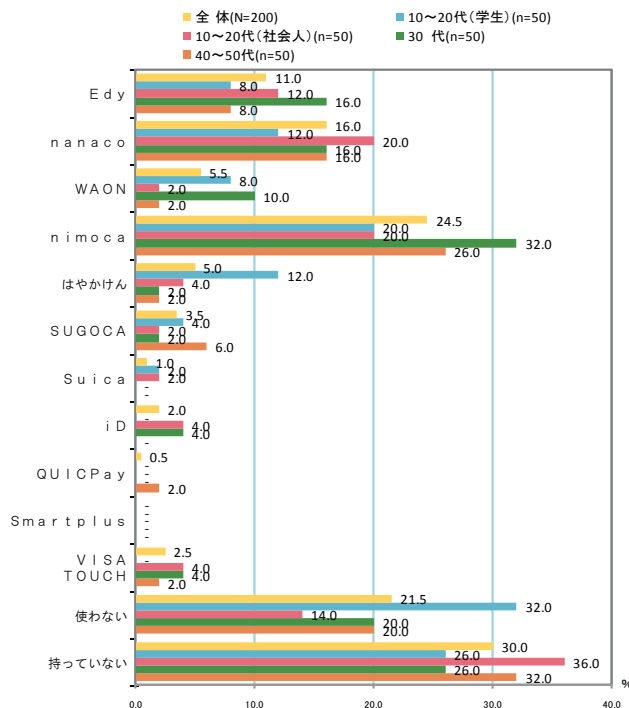
IC乗車券を持っている人は63.0%であり、券種は「nimoca」がトップ!!



IC 乗車券の所有状況について尋ねたところ、「nimoca/西日本鉄道」(48.5%)と回答した人が最も多く、特に女性が多くなっています。次いで「はやかけん/福岡市営地下鉄」(14.5%)、「SUGOCA/JR九州」(9.0%)、「Suica/JR 東日本」(4.5%)の順となっています。年代別では、地下鉄沿線に学校が点在しているせいか10~20代(学生)では「はやかけん/福岡市営地下鉄」(26.0%)と回答した人が他の年代より多くなっています。

TOPIC 2

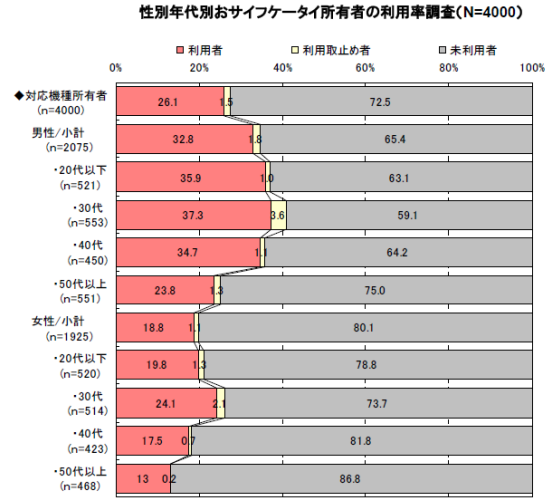
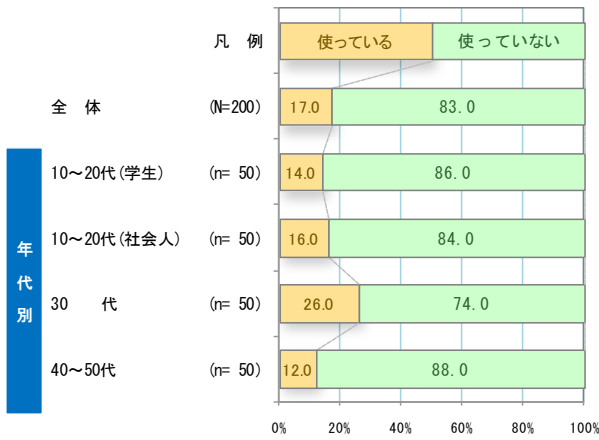
電子マネーの使用券種は「nimoca」が24.5%でトップ!!



買物における電子マネーの使用状況について尋ねたところ、「nimoca」(24.5%)の電子マネー使用者が最も多く、次いで「nanaco」(16.0%)、「Edy」(11.0%)、「WAON」(5.5%)の順となっています。年代別にみると、10~20代(学生)では「はやかけん」(12.0%)が、30代では「nimoca」(32.0%)が他の年代に比べ多くなっているのが特徴的です。また、所持IC乗車券の電子マネーを使用する傾向がみられます。JRの乗車券所持者は「Edy」を使用する人が多くなっています。

TOPIC3

おサイフケータイの使用者は、
30代が26.0%と比較的多い。

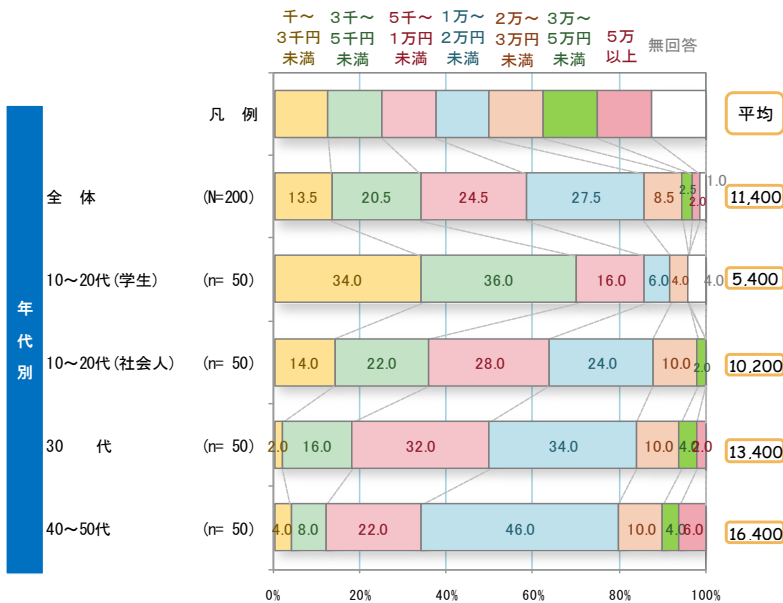


《参考》 出典：ドコモレポート NO.64 より

おサイフケータイの使用状況について尋ねたところ、使用率は17.0%となっています。年代別では、30代の使用が比較的多くなっており、ドコモが2009年に実施している全国調査と同じ傾向がみられます。

TOPIC 4

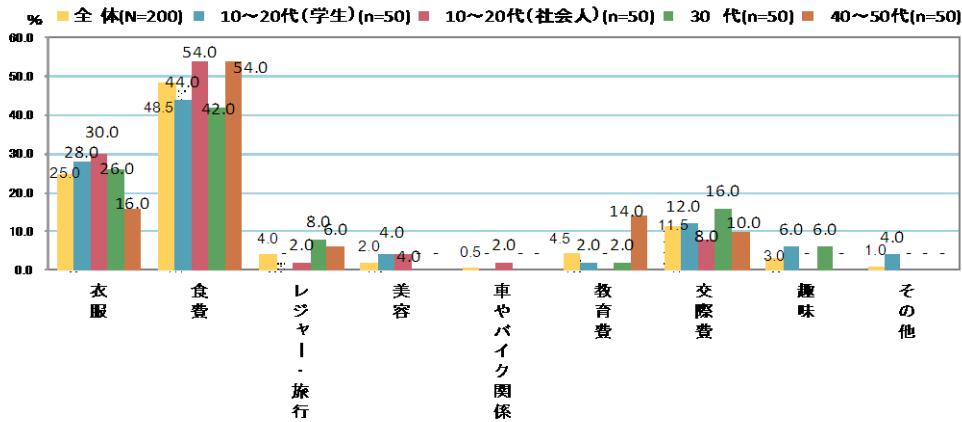
普段の所持金の平均額（全体）は11,400円。
年代が上がるにつれて所持金も多くなっている。



普段の所持金について尋ねたところ、平均は11,400円となっています。分布では「1万円未満」が58.5%、「1万~2万円未満」が27.5%、「2万円以上」が13.0%となっており、1万円未満が中心といえます。年代別では、年代が高くなるほど平均所持金も上がっており、相関がみられます。

TOPIC 5

性年代問わず、普段「食費」に最もお金を使っている人が多く、5割弱を占めている。

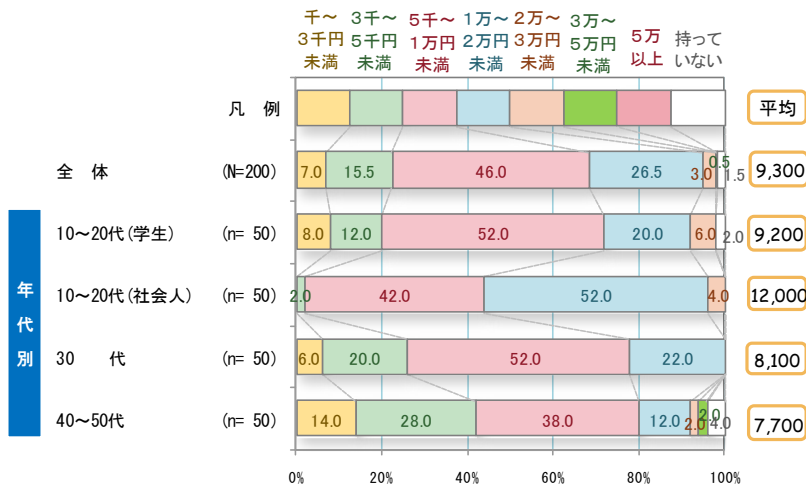


普段、何に最もお金を使っているかを尋ねたところ、「食費」(48.5%)が最も多く、次いで「衣服」(25.0%)、「交際費」(11.5%)、「教育費」(4.5%)の順となっています。

性別では、女性は「食費」(42.0%)、「衣服」(34.0%)が多く、男性は「食費」(55.0%)、「交際費」(17.0%)「衣服」(16.0%)の順となっています。「衣服」と「交際費」の使い道においては性差があるようです。

TOPIC 6

最も携帯電話を使用しているのは10~20代(社会人)で、その使用料の平均額は12,000円。



携帯電話の使用料を尋ねたところ、「5千~1万円未満」(46.0%)が最も多く、次いで「1万~2万円未満」(26.5%)、「3千~5千円未満」(15.5%)、「千~3千円未満」(7.0%)の順となっており、平均で9,300円です。

年代別では、10~20代(社会人)では「1~2万円未満」(52.0%)が5割以上を占めており、平均使用料も12,000円で最も高くなっています。携帯電話使用料は若い人の方が高い傾向がみられます。